



2025年7月5日
スーパー耐久 Rd.4
スポーツランドSUGO レースレポート
QF 6th / RACE 6th

Photo by : @alto_fuchigami
Thanks!!

予選 Qualifying

今回は、Dドライバーを担当させて頂きました。

久しぶりのSUGOの狭さとガードレールの近さ、デンジャラスコースだったなど懐かしさを感じながら、でも走るたびに樂しくなってきて、走行に夢中でした。

予選では、Cドライバーと合わせて20分。今週の走行時間の短さから、10分ずつしっかり走ることとなりました。

A、Bドライバーの時は雨でしたが、C,Dドライバー予選の時間が近づくにつれて晴れていき、水はけの良いSUGOは、私が走行するときはすっかりドライコンディションで走ることが出来ました。

前日までの課題

「3コーナーは全開でいくためのリズム」

「最終コーナーのアクセルの入れていき方」

などなど頭を巡らせながら、

予選タイムは目標だった40秒台に入り3番手！

他チームの状況はわからないけれど、前回のトラウマから切り替えられたり、中古タイヤで走れてタイムが出たことは自信に繋がりました。

チーム予選は6番手スタートとなりました。





決勝 Race

今回は、スタートドライバーを担当！

朝雨が降っていて涼しかったにも関わらず、スタート時間が近づくにつれてどんどん気温が上がっていく…

じっとしていても、暑い⚡

走行中に、ドリンクを飲みすぎると脱水になると聞いたので、口を湿らす程度で、走っている間は、なるべく飲まないようにしようと思いながらレーススタートに備えます。

ローリングスタートの瞬間、前の車両とのタイミングが合わず少し失速。しかし、大きな遅れは取ることなく、前の団体についていきます。

次第にST-5Fクラスに追いついていきますが、ストレートが速い！

なんとかコーナー頑張ってストレートで追いつかれないように必死に走ります。

そんな中で、もてぎでも争った車両が目の前に！

ここから長い戦いが始まります。

追いついても最終コーナー登り切るあたりから置いていかれる…

どこで抜こうか、相手の走り、自分の走りを考えながら食らいつくが中々苦戦します。

そんなバトルをしながら40分過ぎたあたりから暑さにやられ始め、ドリンクを飲まな過ぎたことに気が付き始めます。

ここで、ドリンクのペース配分もしっかり練習しとくべきだったと後悔します…が、そんなこんなで1時間過ぎたあたりでやっと抜くこと出来、自分のステイントも無事に終了。

その後もトラブルもなく、チームは6位でチェックマークを受けました🏁

こんなに暑くなると思わなかったSUGO戦。

しっかり走りきれた！という解放された気持ちと、もっと技術もバトルも上げていきたいという気持ちに包まれています。

ただ、落ち込むことがあっても、嫌なことがあってもやらかしたことがあってもしっかり向き合って、落ち込んで、前を向いて進んでいかないと乗り越えること自体出来ないんだなと改めて感じました。

これからも前を向いて、悔いのないレース人生を歩めるようにまた努力していきます！

あとは暑さに負けない体つくりだ

応援、
ありがとうございました！

岩岡万梨恵



Supported by





今年も「ウエノテックス株式会社」様、「Rita Technology株式会社」様に応援して頂いております。

ありがとうございます！！



ウエノテックス株式会社は、環境機器分野では、廃棄物処理、リサイクル用に、AI自動選別機をはじめ、一軸破碎機や粉碎機等の設計・開発・製造を行っております。全て自社開発、自社生産しており、信頼と実績の純国産製品です。

産業機器分野では、お客様のご要望を100%満たすオーダーメイドのFAシステムの設計・製造を行っています。産業用クレーンとして、天井クレーン、自動クレーン等のあらゆるニーズに対応します。

[破碎機メーカー | ウエノテックス株式会社](#)

持続可能な循環型の社会を形成するため、資源のリサイクルの前段階として廃棄物を破碎する破碎機を開発し、デジタル技術を導入し、環境の保全・整備に貢献している会社、それが「ウエノテックス株式会社」です！

